

1

家族の会話を大切にしよう

子供と話すときには、子供の目を見て、笑顔で話すようにしましょう。
今日あった出来事を親子で話し合い、子供が頑張ったことは褒めましょう。

おはようございます!!



2

挨拶や感謝の気持ちを伝える習慣を付けよう

「おはよう、こんにちは、さようなら、ってきます、ただいま、ありがとう、いただきます、ごちそうさま」の挨拶を大人がしっかりと言う姿を子供に見せることで、子供が自分から挨拶や感謝の気持ちを伝える習慣を身に付けさせましょう。

3

相手の立場になって考えさせ、思いやりの心を育てよう

思いやりの心は、子供への愛情のこもった語り掛けや適切なスキンシップで育ちます。
また、親が関わる人に対して、親切に対応することで子供は見て学びます。子供の見本になる言動を心掛けましょう。

4

生活リズムを崩さずに生活しよう

生活習慣の乱れは気力、体力、学習意欲の低下につながります。
早起き、早寝、朝ごはんを心掛け、生活リズムの向上に努めましょう。



5

社会のルールや遊びのルール、帰宅時間を守らせよう

友達とのお金や物の貸し借りは大きなトラブルのもとになります。社会のルールや遊びのルール（いつ、どこで、誰と遊ぶのか）、帰宅時間を確認してから、遊ばせましょう。

6

宿題とお便りをチェックしよう

家庭学習を習慣化させるために、子供の宿題の取組状況や内容を確認しましょう。
また、学校からのお便りの有無を確認し、学校の取組を家族の会話につなげましょう。



7

家族の一員としての自覚をもたせよう

子供がお手伝いをすることで、できることが増えていきます。
子供の自立のためにもできることから始めてみましょう。

8

健康や子供の身だしなみに気を配ろう

健康な身体に保つため、毎日入浴させましょう。また、歯磨きをさせましょう。
「学校生活のきまり」に書かれている髪型や服装を守らせましょう。



9

スマートフォンなどによるSNSの利用は家庭ルールを作って守らせよう

SNSによるトラブルが後を絶ちません。スマートフォンを子供に自由に使わせることには危険が伴います。
トラブルが起こった際の最終的な責任は保護者にあります。スマートフォンなどは家庭ルールを守って使わせましょう。

10

子供の興味があることを知り、一緒に楽しもう

親が子供の興味のあることに一緒に取り組むことで、親子の絆が深まり、
保護者も新たな教養を身に付けることができます。子供の興味のあることを知り、子供と一緒に楽しみましょう。



1 家族の会話を大切にしよう

子供と話すときには、子供の目を見て、笑顔で話すようにしましょう。
今日あった出来事を親子で話し合い、子供が頑張ったことは褒めましょう。

おはようございます!!



2 挨拶や感謝の気持ちを伝える習慣を付けよう

「おはよう、こんにちは、さようなら、いってきます、ただいま、ありがとう、いただきます、ごちそうさま」の挨拶を大人がしっかりと言う姿を子供に見せることで、子供が自分から挨拶や感謝の気持ちを伝える習慣を身に付けさせましょう。

3 相手の立場になって考えさせ、思いやりの心を育てよう

思いやりの心は、子供への愛情のこもった語り掛けや適切なスキンシップで育ちます。
また、親が関わる人に対して、親切に対応することで子供は見て学びます。子供の見本になる言動を心掛けましょう。

4 生活リズムを崩さずに生活しよう

生活習慣の乱れは気力、体力、学習意欲の低下につながります。
早起き、早寝、朝ごはんを心掛け、生活リズムの向上に努めましょう。



5 社会のルールや遊びのルール、帰宅時間を守らせよう

友達とのお金や物の貸し借りは大きなトラブルのもとになります。社会のルールや遊びのルール(いつ、どこで、誰と遊ぶのか)、帰宅時間を確認してから、遊ばせましょう。

6 宿題とお便りをチェックしよう

家庭学習を習慣化させるために、子供の宿題の取組状況や内容を確認しましょう。
また、学校からのお便りの有無を確認し、学校の取組を家族の会話につなげましょう。



7 家族の一員としての自覚をもたせよう

子供がお手伝いをすることで、できることが増えていきます。
子供の自立のためにもできることから始めてみましょう。

8 健康や子供の身だしなみに気を配ろう

健康な身体に保つため、毎日入浴させましょう。また、歯磨きをさせましょう。
「学校生活のきまり」に書かれている頭髪や服装を守らせましょう。



9 スマートフォンなどによるSNSの利用は家庭ルールを作って守らせよう

SNSによるトラブルが後を絶ちません。スマートフォンを子供に自由に使うことには危険が伴います。
トラブルが起こった際の最終的な責任は保護者にあります。スマートフォンなどは家庭ルールを守って使わせましょう。

10 子供の興味があることを知り、一緒に楽しもう

親が子供の興味のあることに一緒に取り組むことで、親子の絆が深まり、
保護者も新たな教養を身に付けることができます。子供の興味のあることを知り、子供と一緒に楽しみましょう。

